

共同保健計画年間実施内容（抜粋）

項目	事業形態	対象	実施内容
結核予防対策	1. 住民検診の完全実施 2. ツベクリン、BCGの完全実施 3. 未就学児の検診 4. 登録患者の管理徹底	全住民 30才未満の主要精密者全員 未就学児（保育所園児を除く） 在宅結核患者家族全員 治療を要する放置患者 放置患者全員	衛生班員、母子愛育会等の組織を活用、目的、趣旨の徹底を期す。 30才未満のツ反応、BCGの完全実施。 ツ反応、BCGの完全実施 一般精密検診時に併せて患者家族の検診。 一般精密検診終了後、管理検診の徹底。
成人病対策	1. 高血圧患者の早期発見と管理の適正 2. ガン対策（胃がん、子宮がん）	65才以上全員 40才以上の希望者 希望者	・要注意者及び要治療者に対する治療勧奨と生活指導、血圧検診。 ・要医療者に対しては、家庭訪問又は集団指導を実施し、血圧カードにより指導する。
栄養対策	1. 栄養教室 2. 栄養講習	婦人会幹部 婦人会	保健所栄養士によるリーダーの養成及びリーダーの講習結果を部落住民への伝達講習。 生活改善普及員により年2回各部落へ栄養の基礎及び農家の食生活についての講習を行なう。 キッチンカー（栄養指導車）及び栄養教室を利用して成人病予防の講習を行なう。
母子対策	1. 妊産婦検診及び母親教室 2. 乳幼児検診 3. 妊婦届出の徹底	妊産婦 乳幼児 全世帯	乳幼児妊産婦の検診、教室指導毎月1回、愛育会班員に徹底させるため部落放送を行なう。 乳児健康相談毎月1回、検診の結果必要な者に対しては個別訪問により指導を行なう。 母子愛育会、医師、助産婦を通じて届出をするように指導する（会合の利用及依頼書の発送） パンフレット、回覧板、部落放送の活用。
学校保健対策	1. 学校給食の改善及び質の向上 2. 家庭での栄養改善 3. インフルエンザ及び扁桃腺炎等の予防対策 4. 飲料水の管理及び疾病予防対策 5. 交通道德教育	給食従事者 学童家庭 全生徒 学校 全生徒	保健所と協力して、給食従事者に対して献立指導及び講習を行ない、給食改善の打合協議会を行なう。共同献立の作成。 PTA会に於て、学童の地位、栄養の改善等についてPRし、家族ぐるみの栄養改善を図る。 予防接種を保育所、小中学校学童の完全実施及び、各学校、保育所においてワカイ運動の展開。 水質検査を年4回は必ず実施する。塩素減菌器設置運動を促進する。 児童の交通事故防止のため教育指導を徹底させる。
環境衛生対策	1. 衛生班の設置 2. し尿処理対策 3. 水質検査対策 4. 上水道設置対策	住民 住民 住民 住民	嘱託員の下に約10世帯を単位として衛生班を設置するように促進する。 宇土市外9カ町村のし尿処理場の竣工まで毎月定期的に清掃並びに消毒殺虫剤の撤布。 年間少くとも4回以上は水質検査を行ない、給水施設の整備を行なう。 上水道設置促進運動を展開する。

共同保健計画会議でとりあげられた城南町の保健衛生上の問題点としていくつかあげられたが、そのうちで城南町の地区組織を通じて、解決出来る問題（例えば、住民の衛生思想の向上によって解決できる結核住民検診の積極的な参加、正

行政計画のなかへ繰入れ

しい栄養知識による食生活改善の問題、家バエ、カ、などの駆除による、伝染病予防の問題、その他）と、行政的に手を加えなければ解決出来ない問題（例えば、予算のともなう事業である、施設や機材の整備に関すること等）を選び分けた。そのうち、特に行政計画については、三カ年の年次計画を樹立して、今後三カ年間の保健衛生行政の方向が決定し

た。（表1. 城南町年次別主要行政計画）この様に今後城南町の衛生行政の大綱は決定したので、次に、協議会で取りあげられたテーマについて、具体的な年間実施計画というものが樹立され、共同保健計画推進協議会と今度は実施の面においても、各テーマごと協議しながら共同で事業を進める事になった。

<表 3>

栄養素の比率と栄養失調症候発現率

調査地区	穀類 cal × 総 cal	動物蛋白(g) × 総蛋白	蛋白 cal × 総 cal	脂肪 cal × 総 cal	糖質 cal × 総 cal	総 cal × 1,000cal	栄養失調
目標値	100	100	100	100	100	B10.3mg	%
熊本市大江町	60(59.7)%	40(39.9)%	13.1%	14.8%	71.9%	1.36mg	20.9
宇土市網田	67.8	42.6	13.7	11.9	72.2	1.13	21.2
球磨郡多良木町	64.3	32.9	12.3	11.3	73.4	0.91	14.3
上益城郡甲佐町	64.5	36.8	13.2	12.2	70.9	0.81	25.5
下益城郡城南町	66.2	33.5	12.8	12.8	73.4	0.83	31.6
	70.9	31.6	12.9	11.6	73.6	0.79	

<表 4>

成人1人1日当りの熱量、蛋白質摂取量の分布表

成人1人1日当り熱量摂取量の分布				成人1人1日当り蛋白質摂取量の分布			
調査地区 (%)	城南町	熊本市	全国の農村部	調査地区 (%)	城南町	熊本市	全国の農村部
摂取量 (g)				摂取量 (g)			
1699以下	26.7	9.1	9.2	49以下	15.5	12.1	3.3
1700~2099	22.2	36.4	30.8	50 ~ 69	35.6	48.5	32.9
2100~2499	15.6	27.2	26.3	70 ~ 89	26.7	30.3	38.3
2500~2899	15.6	18.2	20.0	90 ~ 109	15.6	9.1	14.6
2900~3299	6.7	9.1	8.8	110 ~ 129	2.2		7.1
3300~3699	8.8		3.3	130 ~ 149	2.2		2.5
3700以上	4.4		1.6	150 ~ 169	2.2		0.4
				170以上	0		0.8

<表 5>

母子保健に関する人口動態諸率の年次推移（城南町）

	出生率 (人口千対)	乳児死亡率 (出生千対)	新生児死亡率 (出生千対)	妊産婦死亡率 (出産1万対)	死産率 (出産千対)
昭和35年	15.3	33.3	20.8	—	73.3
36年	13.6	37.3	23.4	—	85.4
37年	12.8	39.8	29.9	—	102.6
38年	12.8	19.9	19.9	—	133.6
39年	12.4	25.5	20.4	—	96.7
指数(39年) 昭和35年=100.0	81.0	68.0	98.1	—	131.9

<表 6>

地区衛生組織の活動状況

地区名	世帯数	人口	発足年月日	現在の活動状況	摘要
高部落	111	531	昭30.4.1	活動中	町モデル地区
赤見	101	490	"	"	"
めど町	191	584	39.4.1	"	"
千原	59	298	37.4.1	"	県イエバエ駆除パイロット地区昭 <sup>37</sup>
沈目	80	376	38.4.1	"	HC "
計	542	2,279			

(註) 本表は行政機関（県HC町）が指定育成した地区を示す。

食中毒を防ごう

- 台所を清潔に
- 手を洗いましょう
- 材料は新鮮なものを
- 冷蔵庫過信は禁物
- ハエ、ゴキブリの退治

摂取場所別件数と患者数 昭39年

	総数	家庭	事業所	学校	病院	旅館	飲食店	その他
件数	2,037	1,123	386	83	14	125	85	221
患者数	41,638	11,142	14,198	7,147	338	2,546	823	5,444